

のぼりべつ 社 協 だより

noboribetsu shakyo



特集

きずなシンポジウム
登別の魅力再発見！
地域の支え合いの
あり方を考える

↑『新入学児童への共同募金広報啓発グッズ贈呈（幌別東小学校）』 市内小学校の新入学児童を対象に、子どもの頃から共同募金にふれることや、福祉のこころを育む福祉教育の一環として、各地区理事・評議員等により広報啓発グッズを贈呈しました。

CONTENTS

- P2 特集 きずなシンポジウム
- P4 赤い羽根共同募金運動が始まります
- P6 きずなのまちづくり助成団体決定
- P7 社会福祉基金造成事業へのご協力ありがとうございます
社協寄付金・社協寄付物品
- P8 平成25年度登別市社会福祉大会 映画上映会



2013
09.01

No. 115

[発行]	社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
[事務局]	登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センター(じんた)2F 内
[TEL]	0143-88-0860
[FAX]	0143-88-4546
[Email]	info@kizuna-shakyo.main.jp
[HP]	http://kizuna-shakyo.main.jp/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集 登別の魅力再発見! 地域の支え合いのあり方を考える



実際に市民が動いたという事実

今回の非常事態において、住民一人ひとりの自主的な判断により困難を抱える住民への支援ができたこと、協力頂いた皆様方の心温まる支援活動に感動しました。こうして様々な実践者の方々の存在が地域の安心を担保したことは間違いない事実であります。ほとんどの住民が自ら被災者である中、より問題を抱える可能性のある人々の安否確認や支援活動に走り回りました。この活動から、仕事の有無や性差に関わらず誰もが人助けをしたいという気持ちを持っているということが明らかになりました。

講演

「大停電アンケート調査分析から見た
地域支え合い体制のポイント」
きずな大使 鳥居 一頼 氏



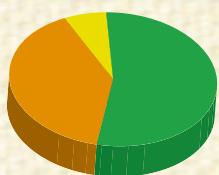
**今回の災害が
最大のチャンス!**

**大切なのは
地域のつながり方**

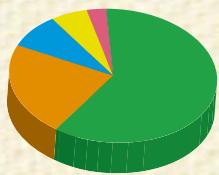


6月29日、しんた21において、約200名の市民の皆さんにご参加頂き、「きずなシンポジウム」を開催しました。今回のシンポジウムでは、昨年発生した暴風雪による大規模停電に関するアンケートの結果を踏まえつつ、今後の地域支え合い活動のあり方を考えることを目的に、きずな大使である鳥居一頼氏による講演と3名のきずな活動実践者の皆様から発表を頂きました。

グラフ1. 要援護者世帯への安否確認を行ったか?



グラフ2. 安否確認を行うことになったきっかけは?



日々の福祉活動を行う地域ほとり 災害時に強い

安否確認をした人の中で72%の人が日常活動をしていることは、日常的な活動の重要性が理解できます。一方、安否確認をしていない人の54.3%の人があなた活動をしているという事も注目すべき点であります。日常活動している人の60.8%しか安否確認を行っていないことになりますが、日常活動をしていなくても43.5%の人が安否確認に協力しているということは、災害時に協力している人々の相互支援関係を期待することができる人々の相互支援関係を期待することができます。このことから、地域には福祉活動の担い手になって下さる方がたくさんいるはずということが言えます。

symposium
「地域支え合い活動の視点」
～新たな仕組みづくりから考える～

地域包括支援センター等、専門機関と連携した見守り活動が大切

富岸小学校区
きずな推進委員会
リーダー
瀧川 正義 氏



- 各町内会の活動内容を情報共有
- 民生委員との連携
- それぞれの町内会の状況に合わせて推進



日頃からつながりを持つことで災害時等緊急時にも迅速な対応が可能

←子育てサロンとくま
(登別西回地区会所)

鶴別小学校区
きずな推進委員会
サブリーダー
中原 義勝 氏

- サロン活動を通じ、地域住民の孤立防止を意識したきずなづくりを行う
- 子育てサロンとくま開設をきっかけに異世代交流を通して、地域ぐるみで次の世代を育んでいく



地域の見守り支え合い体制づくりの調査研究に取り組んでいます

きずな推進委員会
作業委員会
副委員長
鳴海 文昭 氏



- 「個別支援」の視点を持った活動展開
- 既存のものを活かした活動展開
- 専門職等との「ネットワーク」を活かす



平時から災害時まで対応できる地域づくりを!

今回災害から、日常的な地域や人との関わり方をステップアップしていくなければならないことを、多くの市

表1. 日常的な活動と安否確認の関係性

日常的な取り組み	安否確認			合計 (%)
	あり	なし	無記入	
あり	72.0	54.3	53.3	63.8
なし	18.5	30.3	13.3	22.9
無記入	9.4	15.4	33.3	13.3
合計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0

日常的な取り組み	安否確認			合計 (%)
	あり	なし	無記入	
あり	60.8	33.9	5.3	100.0
なし	43.5	52.8	3.7	100.0
無記入	38.1	46.0	15.9	100.0
合計 (%)	53.8	39.8	6.4	100.0

民は学んだのではないでしょうか。「きずな」は「ある」ものではなく「紡ぐ」もので、その紡ぎ手は市民一人ひとりであります。
災害が起こっても「この地域は大丈夫!」という確証は、日々の暮らしの「きずなづくり」にしかないことを心に強く留めて、「災害の教訓」としてさらなる「きずなづくり」に邁進しなければなりません。それが次世代に手渡す災害に備える「心構えと行動」ではないでしょうか。

※詳しくは社協ホームページ「暴風雪による大規模停電に関する緊急アンケート調査結果報告書」をご覧ください。

のぼりべつしやきょう



祉熙動へと通じられていました。

登別の福祉活動への助成

募金の
使い道

市民の皆さんにご協力頂く寄付金の約7割が登別の福祉活動に、約3割が全道規模の広域的な福祉活動に活用されます。

「あなたの募金はあなたのまちへ」

町内会・商店・企業、団体等の身近なイベントや行事まで、さまざまな場面で、のぼり旗や風船、募金箱等を設置いただきPR活動を展開しています。

あなたの地域で
イベント募金

年間を通して市内の各種イベントにおいてブースを設けて共同募金PR活動を実施しています。

全市的なイベントから



今年も赤い羽根共同募金運動が、10月から始まります。12月までの3カ月間、戸別募金をはじめ様々な方法で募金活動が行われます。

赤い羽根共同募金

10月1日(月)～12月31日(月) www.akaihane.or.jp 布引朝市



期 間 10月1日～12月31日まで
目標額 7,100,000円

登別中央商店会40周年感謝祭（イベント募金）

赤い羽根共同募金運動が始まります

登別市共同募金委員会 役員・評議員をご紹介します

会長	横尾 逸郎	(任期: 平成 25 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)
副会長	池畠 泰彦・山田 正幸・竹内 芳郎	
理事	原 小百合・田代 健二・中川 信市・江口 武利・秋葉 薫・大野 薫・雨洗 康江・辻 熱・伊清 淳彦・竹中 優嚴・三浦 忠夫・田渕 純勝・岩井 渡・太田 通・八重樫 一男・南 行雄	
監事	本巣 松美・前田 文彦	
評議員	須賀 武郎・嶋田 良子・秋山 恵教・竹中 洋子・岩倉 秀行・筑野 栄子・大塚 雅春・中山 登・村井 寿行・工藤 章造・平田 誠治・二木 哲成・山道 春秋・菅野 正一・相馬 裕一・亀山 聖・熊本 幸一・鈴木 信義・川島 芳治・伊藤 秀男・日野 安信・播磨 淳子・小林 藤子・岸 正治・秋山 勝利・伊藤 信一・堀尾 政江・長澤 汀子・高橋 幸子・鹿原 徳子・浅見 郁子・山口 登・中原 義勝・萩原 純子・花野 正則・對馬 敬子・廣瀬 淑子・直野 勝美・金子 健二・辻 君予・長谷川 正恵・工藤 俱二雄・小沢 裕美子・海老名 庄三郎・山道 知衣子・堀川 千恵子・橘 定・近藤 トシ子・松宮 登美子・森 忠義	

新 たな募金のカタチ

募金型自動販売機

商品売り上げの一部が募金へとつながる自動販売機は、現在市内2カ所に設置されています。みなさんの身近なところでも設置が可能ですので、法人・企業のみなさん、自動販売機新規設置の際はぜひご相談ください。



さまざまな 募金方法

- ①家庭を対象とした「戸別募金」
- ②通行人を対象に運動をPRする「街頭募金」
- ③企業を対象とした「法人募金」
- ④個人を対象とした「篤志家募金」
- ⑤従業員を対象とした「職域募金」
- ⑥児童・生徒を対象とし、福祉教育を目的とした「学校募金」
- ⑦各種イベントでの「イベント募金」
- その他にも募金箱の設置等、皆さん一人ひとりのできるカタチでご協力をお願いします。

北海道日本ハムファイターズ X 赤い羽根共同募金

あなたも地域の応援サポーターになりませんか？

赤い羽根サポーター宣言

私たちにはフレーを通じて募金を集め、赤い羽根共同募金に寄付し、北海道の福祉を応援する活動に取り組んでいます。

赤い羽根
サポーター宣言

http://www.akarikoto.com/donate/

あなたも地域の 応援サポーター になりませんか？

赤い羽根サポーター宣言

赤い羽根共同募金には、北海道の福祉活動推進への貢献を目的に運動を応援してくれる多くのサポーターがいます。

『北海道日本ハムファイターズ（野球）』『コンサドーレ札幌（サッカー）』『エスポラーダ北海道（フットサル）』『レバンガ北海道（バスケット）』『初音ミク』『道内出身漫画家（いがらしゆみこ等）』等

※登別で活動する地元のスポーツ団体等からの、赤い羽根サポーター宣言もお待ちしております！



登別のまちが好き、だから、ずっと住み続けたいまち。

そんな気持ちを、支えるしくみが赤い羽根。

たくさんの人々のやさしさが、共同募金を支えています。

じぶんのまちを良くする活動が、もっと、もっと、元気になるように共同募金は、民間の地域福祉活動を応援します。

お問合せ先 登別市共同募金委員会 電話：88-0860 FAX：88-4546

※法人・企業による募金（寄付）の取扱いについて

共同募金は、税制上、国や地方公共団体と同じように、寄付に対する優遇措置の対象団体となっています。法人・企業が共同募金に寄付をすると、その全額を損金の額に算入することができます。これは共同募金に対する寄付が財務省からの指定寄付金として認められているからです。

登別手話の会は、聴覚障がい者の方が講師となり月4回程度の活動をしています。手話と言うと難しい印象があるかもしれません「手話のドラマを見て」「身近に聴覚障がい者がいた」等、きっかけは様々です。地域の中で意思表示が「手話」で出来る方が増えれば、当事者にとっても社会参加の活動の幅が広がり、誰もが住みやすい福祉のまちに一歩近づくと思います。昨年は街頭募金を行い、地域で集めたお金が地域の中で活用されていることをあらためて実感しました。市民の皆さんとの温かい想いを大切に使い、活動を通して地域に還元していきたいと思います。

登別手話の会



きずな
まちづくり助成
団体決定!!

写真は手話で
「I LOVE YOU」
のポーズだよ!



登別市地域福祉実践計画「きずな」に基づき、登別市社協と共に福祉のまちづくりに積極的に取り組む団体に対し、共同募金の支援による助成を行っています。今年度は31事業29団体への助成が決まりました！

平成25年度きずなまちづくり助成団体

(事業名／助成額)

登別視力障害者協会（視力障がい者への理解を深める啓蒙活動／60,000円）、おはなししづけっと（読み聞かせを通して子どもたちの心を育む事業／30,000円）、登別市障害者福祉関係団体連絡協議会（障害についての啓発活動、ボランティア育成と交流・福祉・教育への推進事業／50,000円）、登別肢体不自由児者父母の会（肢体不自由児者への理解と地域参加を図るための交流事業／33,000円）、登別手話の会（手話講習会開催事業／49,000円）、障がい児親子の会ぽぽくらぶ（ぽぽくらぶ10周年記念事業／45,000円）、おはなしりほん（地域における読み聞かせ活動を通しての交流及び子育て支援事業／32,000円）、バリアフリーネットワークつばさの会（障がい者への理解を求める市民との絆を深めるバリアフリー実践学習事業／47,000円）、登別市手をつなぐ育成会（学童部の運営事業／15,000円）、登別市手をつなぐ育成会（本人会の運営事業／15,000円）、室蘭・登別心身障がい者職親会（室蘭・登別心身障がい者職親会活動事業／50,000円）、心身障害児（者）と共に歩む会ひまわりクラブ（映画「逃げ遅れる人々」上映会事業／15,000円）、登別市食生活改善推進員協議会（地域における栄養教室／34,000円）、登別聴覚障がい者懇談会（市民対象手話学習会事業／15,000円）、登別更生保護女性会（犯罪予防の考え方を普及・啓発する事業／54,000円）、登別市連合町内会（安心で安全なまちづくり・自主防災活動を通したきずなづくり推進事業／100,000円）、NPO法人ライフサポート（“鬼まつり” キャンドルフェスティバルによる世代間交流事業／30,000円）、登別市点訳赤十字奉仕団（初心者点訳講習会・点字指導出前講習・点訳講習会・点訳サービス事業／60,000円）、布の絵本ボランティアの会（布の絵本・遊具製作事業／45,000円）、ボランティア花つなの会（心と身体の健康に役立つ料理教室／14,000円）、登別朗読ボランティアの会（視力障害者の日常支援事業／50,000円）、パソコンボランティアプラザ登別（障がい者及び高齢者へのパソコンサポート事業／65,000円）、登別ブラインドボランティアの会（視力障がい者のガイドヘルプ支援事業／33,000円）、特定非営利活動法人ゆめみ～る（高齢者・障がい者への配食による生活支援と安否確認事業／90,000円）、登別ノルディックウォーキング愛好会（ノルディックウォーキングを通した健康推進事業／15,000円）、鷺別子ども見守りたい（鷺別小学校区子どもの見守り活動／10,000円）、サウザント・パワー（オカリナコンサート事業／10,000円）、ハンズメイト（介護衣類のリフォーム事業／37,000円）、整膚ボランティア会（地域での整膚ボランティア事業／15,000円）、在宅福祉ボランティアとわの会（在宅福祉ボランティア事業／25,000円）、登別市連合町内会（町内会におけるきずなづくり推進事業／100,000円）

総額 1,243,000円

社会福祉基金造成 事業へのご協力ありがとうございます



平成24年度 チャリティー市民芸術会

たすけあいの心の高揚とふれあいの輪を広げる
ために交流事業として市内3地区で開催しました。

	日 程	益 金
登別地区	10月20日(土)	190,549円
幌別地区	3月 2日(土)	479,839円
鶡別地区	10月13日(土)	199,195円
合 計		869,583円

平成25年度 ビールパーティー

地域福祉の向上と安定した財源確保を目指し、
市内3地区で開催しました。

	日 程	益 金
登別地区	7月 6日(土)	131,815円
幌別地区	7月 6日(土)	256,275円
鶡別地区	7月13日(土)	153,279円
合 計		541,369円

社協寄付金 (平成25年4月1日～平成25年7月31日)

受領日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
25.04.15	株式会社 室蘭民報社中部支社	30,000円	「新入学児童に安全・安心を！」を趣旨とした広告料の一部を社会福祉のために
25.04.26	匿名	80,000円	パソコン講師の謝礼を社会福祉のために
25.05.01	いずみ亭	29,029円	愛の小箱
25.05.19	仲良し会	20,000円	第22回なかよし会チャリティー発表会の益金の一部を社会福祉のために
25.05.24	国際ソロプロミスト登別	50,000円	チャリティーコンサート「愛のうたのタベ」の益金の一部を社会福祉のために
25.05.27	水口 清	1,100円	第1回社協評議員会の費用弁償を社会福祉のために
25.05.31	小沢 裕美子	600円	第1回共同募金委員会評議員会の費用弁償を社会福祉のために
25.06.03	わしこうダンス愛好会	10,000円	第2回ダンスパーティーでの益金の一部を社会福祉のために
25.06.05	大和田 登	5,000円	社会福祉のために
25.06.09	日本アマチュア歌謡連盟NAK室蘭支部 舛甚三兄弟	30,000円	NAK室蘭&舛甚3兄弟カラオケ合同発表会の益金の一部を社会福祉のために
25.06.21	第一観光事業(株)	4,274円	愛の小箱
25.06.21	(株)第一滝本館	5,910円	愛の小箱
25.06.28	日本工学院北海道専門学校しん灸科	24,364円	昨年の学校祭にしん灸科でデモンストレーションを行い募った寄付を社会福祉のために
25.06.29	鳥居 一頼	10,000円	きずなシンポジウム講師謝礼金を社会福祉のために
25.07.09	匿名	20,000円	地域活動支援センター利用の感謝の意をこめて
25.07.15	登別中央飲食店組合	80,000円	チャリティーゴルフ大会の益金を社会福祉のために
25.07.17	幌別地区ビールパーティー実行委員会	230円	ビールパーティー会場での愛の小箱
25.07.17	登別地区ビールパーティー実行委員会	977円	ビールパーティー会場での愛の小箱
25.07.19	いずみ亭	23,205円	愛の小箱



社協寄付物品 (平成25年4月1日～平成25年7月31日)

受領日	寄付者名	寄付品名	寄付の目的
25.04.09	匿名(不明)	年賀はがき 960枚	H24.12.18送り主不明の年賀はがき（遺失物所有権取得）を社会福祉のために
25.04.16	北海道新聞蘭友会	車椅子1台	古紙回収での売上金を活用して福祉用具を購入して社会福祉のために (敬称略)

10/1(火)
13:50 開場・14:00 開演
参加申込不要!

平成25年度 登別市社会福祉大会

映画上映会

登別市民会館大ホール

長編動画

毎日が アルツハイマー

Everyday is Alzheimer's

認知症患者は全国推定患者数462万人。実に高齢者の15%が認知症という実態です。当市においても、地域住民が進めるふれあいきいきサロンなどの福祉活動を通して、認知症を予防するための取り組みを実施したり、市や関係機関が連携を図り、認知症になっても安心して地域で暮らせる支援体制の構築に取り組んでいます。

本映画は、認知症の母とそれを支える娘との2年半を記録したドキュメンタリー映画です。日常の場面での認知症の人や家族が出くわす様々な出来事をユーモアいっぱいに描いています。

本映画を通して多くの方に認知症を理解して頂くとともに、安心して暮らせる地域づくりを願い開催します。

(上映時間：93分)



©2012 NY GALS FILMS

前売券1枚500円/当日券1枚700円

(チケット1枚につき100円が共同募金として市内の福祉活動の財源に充てられます。)

《チケット販売所》登別市社会福祉協議会（しんた21内）

*詳しくは下記事務局へお問い合わせください。

合同開催！



災害協定調印式



赤い羽根共同募金
運動開始宣言

昨年11月に発生した暴風雪による大規模停電の教訓を踏まえ、登別市社会福祉協議会と登別ガス協同組合による「災害救援活動の支援に関する協定書」の調印式を行います。

「赤い羽根募金」の愛称で親しまれている共同募金活動は、厚生労働大臣の告示により毎年10月1日から全国一斉に開始されます。告示日に合わせ登別での運動開始を宣言します。

平成25年度 登別市社会福祉大会

地域社会における人たちの「きずな」の推進を通して、社会福祉関係者をはじめ、市民参加による福祉のまちづくりの実現をめざすため、これまで多年にわたり本市社会福祉の発展に功労のあった団体又は個人を表彰するとともに、様々な福祉ニーズを主体的に捉える機会と研鑽を深める機会を設けるため開催します。

主 催 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会、登別市共同募金委員会
後 援 登別市、登別市連合町内会、登別市民生委員児童委員協議会
日 時 平成25年10月 1日（火） 13:00～16:00
会 場 登別市民会館 1階 大ホール
日 程

12:30 13:00

13:50

14:00

16:00

式典
受付

開会

式典
表彰

休憩
映画上映会開場

災害協定
調印式

赤い羽根共同募金
運動開始宣言

映画上映会「毎日
がアルツハイマー」

閉会

大会事務局（お問合せ・チケット販売）

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

〒059-0016 登別市片倉町6丁目9-1 登別市総合福祉センター内

T E L : 0143-88-0860 F A X : 0143-88-4546 e-mail : info@kizuna-shakyo.main.jp